

授業反省会の方法

授業づくり支援課特別支援班

過程	内 容	留 意 点
導 入	<p>1 研究協議の柱の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究テーマに沿った、本授業研究の視点 ・会の進め方 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業研究の視点（授業者の意図）が指導案に書かれている。指導案の読み込みをしておく。 ・授業研究の視点に基づいた授業観察をし、事実を記録しておく。 <p>【例】 「主体的に活動・参加する姿を引き出すための環境設定の工夫」 「活動量を確保するための活動内容の選択」 等</p>
	<p>2 授業者の振り返り</p> <p>①学習指導案を基に、具体的、明確に振り返る。</p> <p>②授業研究の視点を踏まえ、その実現、課題解決のために設定した内容、講じた手だては妥当であったか</p> <p>③目標は達成できたか（集団の目標、個々の目標）。</p>	
	<p>3 論点を決める</p> <p>論点：授業研究の視点を踏まえた検討課題から設定</p>	
検 討	<p>4 論点に沿った協議</p> <p>○実際に起きた出来事（子どもの表れ-教師の働き掛け）を振り返りながら、うまくいった点、改善策、新たな支援や指導方法について考える。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>【1対1でのやりとり】</p> <p>○対話形式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業者の意図を知り、自己評価や気付きを大切にしながら進める。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>【協議】【ワークショップ】</p> <p>○小グループによる協議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・司会役の進行で、参加者が意見を出し合う。 ・多様な意見やアイデアを引き出し、チームによる改善を行う。 </div> </div> <p style="margin-top: 10px;">【分析のためのツール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業記録（発問・板書記録）・ビデオ記録 ・参観シート（カード） ・ 授業評価表 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・司会者は、研究協議の柱に沿って問題点を整理するよう工夫する。 ・参加者は、研究協議の柱に沿って、学習指導案や授業中の事実に基づいて発言する。 ・参加者は、目標達成のための手だて等について、改善策を提案する。 <p>【参加者の発言】</p> <p>①最初は、授業者の意図を肯定して語る。</p> <p>②建設的な発言をする。</p> <p>③授業での事実を挙げて論理的に語る。</p> <p>④授業者に敬意を表したことばで語る。</p>
ま と め	<p>5 授業者のコメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業者として明確になったこと、授業改善の内容や手立て等について語る。 <p>6 指導助言</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究協議の柱に基づき、授業改善のために中心的に協議された点、今後の改善に向けた課題等を明確にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導助言者がいない場合、司会者がまとめる。

- チーム全員から意見を引き出せる話し合いの場の設定
- 意見をまとめて記録し、次の授業へつなげるためのツールの活用
- チーム全員から意見を引き出し、話し合いをデザインするファシリテーターの存在
- チーム全員がやってよかったと思える授業研究の実施